

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： 郡上市地域共生圏協議会

記入者名：

上位関連計画にみる地域の将来

- パリ協定における日本の目標：2013年度比で2030年までに26%削減、さらに2050年までに80%削減
- 第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22~24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量/実質GDP）35%減。
- 現在の人口：40605人、将来 33643人(2030年)、28788人（2040年）
- 地域の総合計画に示された将来目標（H28時） 現状：42094→目標：37500（2025年）

②具体的な取組

- ※誰が何をするのか、主なものをお書きください。
- 地域主導型再生可能エネルギーの開発（地域電力、建設業、設備業、市、市民（ファンド））
- 地域内移動手段の開発（NPO法人、一般社団法人、市、地域交通会社）
- 脱炭素×観光ビジネス（アウトドア事業者、観光連盟、市）
- 地域事業体の設置（本協議会、市、民間企業、地域団体、市民）



③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2021年度末)	実績値 (2021年度末)	単位	
環境	カーボン・ニュートラル	事業を通じた地域発電所数	-	+2		箇所	
	カーボン・ニュートラル	事業を通じた新規再エネ利用者数	-	+6		箇所	
	カーボン・ニュートラル	事業を通じた間伐由来排出量取引数	-	+5		件	
	森林保全推進	保全活動イベント数	-	+3		件	
	森林保全推進	保全活動参加市民数	-	+20		人	
	観光振興	サステナブルツーリズム数	-	+5		件	
				-			
経済	地域の事業創出	事業を通じた創エネ工事数	-	+2		箇所	
	地域の事業創出	事業を通じた省エネ改修数	-	+6		箇所	
	地域の仕事創出	事業を通じた就労者数	-	+2		人	
	地域の仕事創出	事業を通じた活動の事業化数	-	+2		件	
	観光振興	事業を通じた市外からの観光客数	-	+30		人	
				-			
社会	移動の自由度向上	サロンカー事業の担い手数	1	+2		人	
	移動の自由度向上	アプリ開発参加者数	21	+15		人	
	地域の仕事創出	事業を通して、ディーセントワークに出会えた人数	-	+4		人	
				-			
				-			

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

短期目標は、スタートアップの1年目で、初めの一步。おそらく目標値は、これまでの関係者の積み上げが成果に反映されると思われる。長期目標は、10年経過しており、関係者の輪が広がり、層の厚みも増していることを想定している。地域発電所（空き地や建物屋根を利用した太陽光発電の集合体）や改修工事などの数に限りがあるものは、順調に行き過ぎると数十年後に増加数が減っている可能性がある。1年目に開発したものが10年経て利用者を増やしているように、成果指標を発展した形で再設定すべきものもあるし、サロンカー事業が社会活動から社会事業に発展し、いろいろなサービスと組み合わせた別の形態になっている可能性もある。ただ、サステナブルツーリズム事業の収益が、環境保全に還元されたり、自分が当たり前にしてきたことが体験プログラムで提供できたり、旅人への親切がおもてなしになったりする、ちょっとしたことが観光に関わる裾野を広げてディーセントワークに出あえるような地味な循環の積み上げもあるという考え方をしながら、目標値を設定した。

※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください

①ありたい未来

- 【引き継ぎたいもの】
郡上市の豊かな自然。
→ 今も地域に残る、“結（ゆい）”や“頼母子（たのもし）”などの、貨幣換算できない「共感価値」を大切に育み、その価値を資本に活動していくことができる文化や考え方。
- 【どんな地域にしたいのか】
エネルギーを含めた市内の自然資源を有効活用した、新しい産業を興したい。
市内の1民間企業だけでは、資金面・ノウハウ面で困難なことに、手を取りあって挑む地域をつくりたい。
社会活動家が社会事業家として自立でき、市民生活の充足がどんどん進む地域をつくりたい。
公共交通など、人がどんどん外に出られるインフラが整い、まさに活気にぎわいがある地域をつくりたい。
市外の人々が、つい行ってみたいくなる、また行きたくなる魅力的な地域をつくりたい。
→ 地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成し、森林保全に市全体で取り組みたい。
- ありたい地域の姿に向かう中で、カーボン・ニュートラルや、人口減少対応、経済成長などの問題にも、力を合わせて前向きに立ち向かえる持続可能な地域にしたい。



④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値(経過) (2021年度末)	目標年度 2030-2050年度	長期目標値	単位
環境	カーボン・ニュートラル	事業を通じた地域発電所数	-	+2	+50		箇所
	カーボン・ニュートラル	事業を通じた新規再エネ利用者数	-	+6	+50		箇所
	カーボン・ニュートラル	事業を通じた間伐由来排出量取引数	-	+5	+50		件
	森林保全推進	保全活動イベント数	-	+3	+20		件
	森林保全推進	保全活動参加市民数	-	+20	+150		人
	観光振興	サステナブルツーリズム数	-	+5	+30		件
				-			
経済	地域の事業創出	事業を通じた創エネ工事数	-	+2	+50		箇所
	地域の事業創出	事業を通じた省エネ改修数	-	+6	+50		箇所
	地域の仕事創出	事業を通じた就労者数	-	+2	+60		人
	地域の仕事創出	事業を通じた活動の事業化数	-	+2	+30		件
	観光振興	事業を通じた市外からの観光客数	-	+30	+120		人
				-			
社会	移動の自由度向上	サロンカー事業の担い手数	1	+2	+60		人
	移動の自由度向上	アプリ利用者数	-	-	+300		人
	地域の仕事創出	事業を通して、ディーセントワークに出会えた人数	-	+4	+60		人
				-			